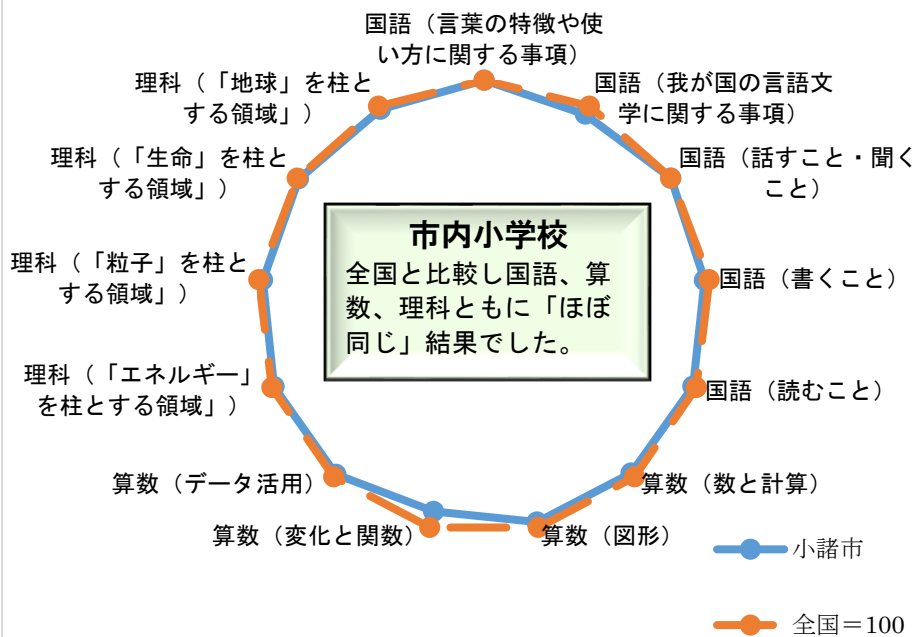


令和4年4月19日、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象として、今年度は国語、算数・数学、理科の3教科で実施されました。(理科は4年ぶりに実施)

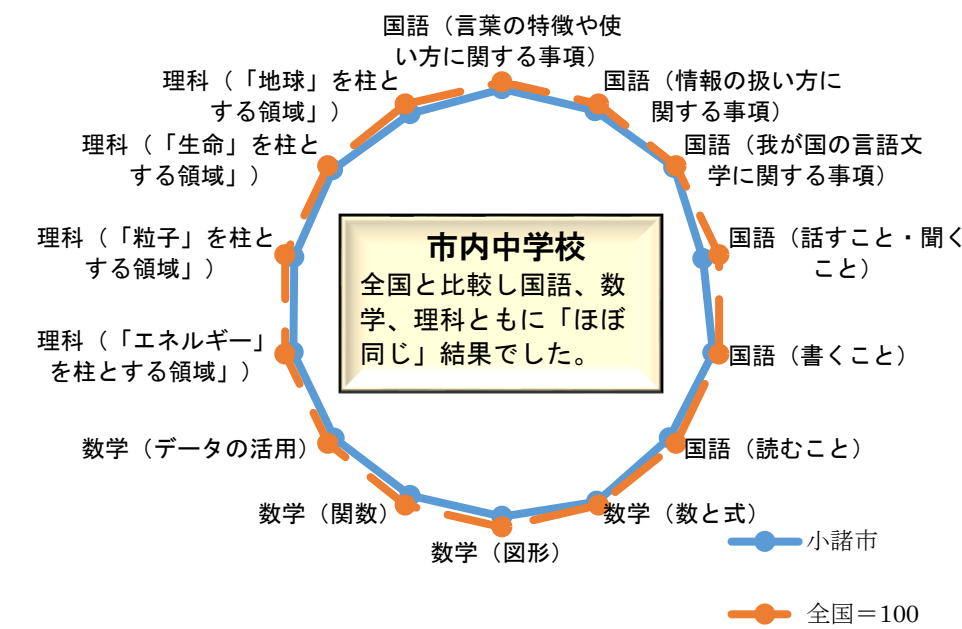
小諸市内小中学校の調査結果は、学習指導要領の内容項目の平均正答率を全国(100)と比べると、下記のグラフのような結果となりました。出題の趣旨からみた主な成果(◎)と課題(△)も示しました。



国語(小) ◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
△漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。

算数(小) ◎図形を構成する要素に着目して長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。
△百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。

理科(小) ◎予想が確かめられる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構成し、自分の考えをもつことができる。
△水は水蒸気になって空気に含まれることを理解している。



国語(中) ◎行書の特徴を理解する。
△聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。

数学(中) ◎自然数を素数の積で表すことができる。
△一次関数の変化の割合の意味を理解している。

理科(中) ◎化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。
△玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。

◇小諸市内小中学校ともに、基礎的な知識や技能はほぼ全国同様に身につけています。小学校・算数(変化と関数)、中学校・国語(話す聞く)、数学(図形・関数)には課題傾向がみられます。また、記述式問題の正答率が低めな傾向にあります。

◇次頁には、右上の各教科に示した課題(△)に関して、児童生徒が苦手としている実際の問題の一部を取り上げてみました。また、児童生徒質問調査の結果からみえてきた点もまとめました。

苦手（課題△）としている問題は？・・・

・児童生徒が苦手としている実際の問題は、以下のようなものでした。（各問題にはどんなねらいがあるのか、どんな力が求められているか等の解説も付しました）

国語（小）

この問題の正答は、4番です。手紙を書き直す際に、相手の読みやすさを考えて、行の中心に文字の中心をそろえて書いて書くことを促されています。

（一）
うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしでしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

（二）
うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしでしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

（三）
うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしでしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

（四）
うららかな春の日が続いています。
いかがお過ごしでしょうか。
わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

- 1 とめやはねの書き方
- 2 文字の大きさ
- 3 文字と文字との間
- 4 行の中心

国語（中）

この問題の正答例は、「皆さん、最近、あなたの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じませんか。」です。友達からの助言を受けて、どのような言葉を加えて直すのがよいか考え、実際に話すように適切に書くことが求められます。

川口さんのスピーチ
皆さん、私の生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも現れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と話すこともできて、その便利さを感心しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行うという面があるのではないかと感じています。

二人の会話の一部
田中さん：川口さん、最近ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じませんか。という部分は、聞き手を引く付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみました。どうでしょうか。「やりとりをスムーズにする」という表現は、実際に話すときに使いたいですか。

算数（小）

（2）オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。この飲み物1000mLには、果汁が何mL入っていますか。答えを書きましょう。

飲み物の量 1000 mL
果汁の量 □ mL
40%
100%

・この問題の正答は、400 (mL) です。果汁が40%含まれている飲み物が1000mLあるとき、40%が割合であることと、1000mLが基準値であることを捉えて、比較量を求めることが必要です。

数学（中）

4 下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア	x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
	y	...	-11	-7	-3	1	5	9	13	...

イ	x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
	y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

ウ	x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
	y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

エ	x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
	y	...	-7	-4	-1	2	5	8	11	...

・この問題の正答は、アです。一次関数の変化の割合は、一次関数の変化の仕方について明確に捉える際に必要であることから出題されています。

理科（小）

（4）よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気になりました。

鉄棒に水てきがついていたよ。 鉄棒に水がついていたよ。

水てき 水

よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめた。□にあてはまることばを書きましょう。

朝、鉄棒に、水てきや水がついていた。気温が下がり、空気中の□が冷やされて、水てきや、水てきになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「どうろ」というらしい。気温のちがいで、異なる現象が起こることがわかった。

・この問題の正答は、水蒸気です。水は空気中で目に見えない状態の水蒸気となって存在していることについて、科学的な言葉や概念を理解していることが必要です。

理科（中）

化石が観察できる露頭を考える場面

赤井さん：ルートマップ上にたくさんの露頭がありますね。
青木さん：A地点の露頭では、化石が観察できますか。

ルートマップの一部
A地点
B地点
がけ(露頭)
観音路

赤井さん：A地点には、玄武岩が分布しています。化石が観察できるか考えましょう。
青木さん：玄武岩は□だから、化石は□です。

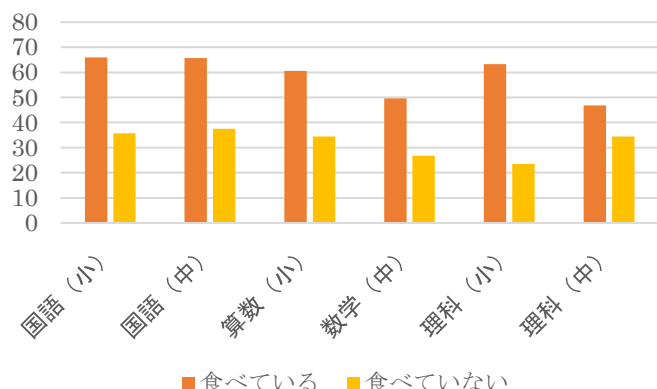
（1）□、□にあてはまる適切なものを、下のア、イの中からそれぞれ1つずつ選びなさい。
ア 火成岩 イ 単斜岩
Y ア 観察できます イ 観察できません

・この問題の正答は、Xがア、Yがイです。玄武岩が火成岩であるという知識と、マグマが冷えて固まった火成岩には化石が含まれないという知識とが関連付けられます。

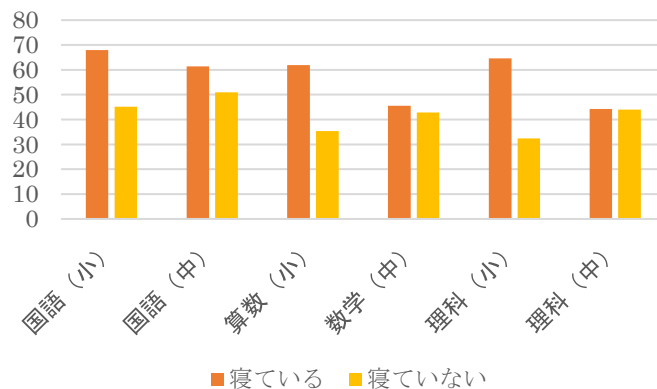
正答率からみた生活習慣と学力の関係性は・・・（児童生徒質問調査の結果から）

・子どもたちの学力向上には、学校での授業や家庭学習の充実に加え、基本的な生活習慣を定着させることも欠かせない要因となります。下記の各質問について、正答率との関係をクロスしてみました。

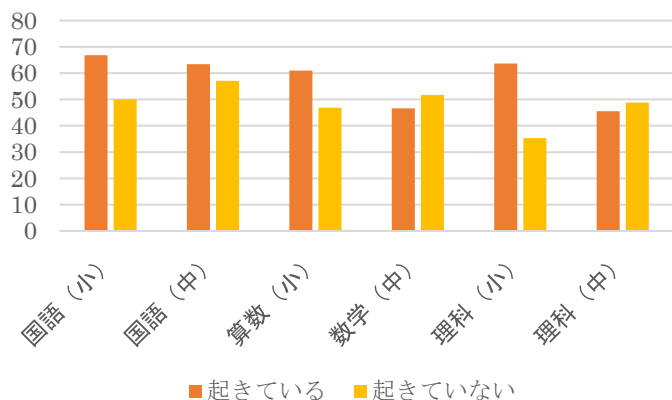
Q①朝食を毎日食べていますか



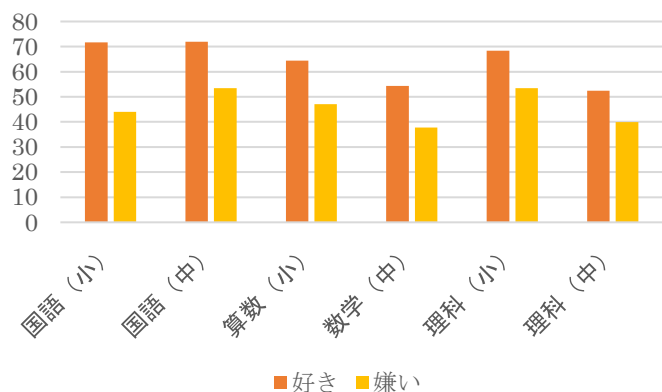
Q②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



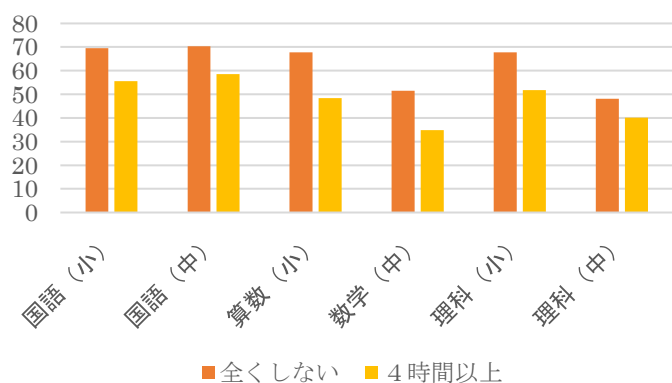
Q③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



Q④読書は好きですか

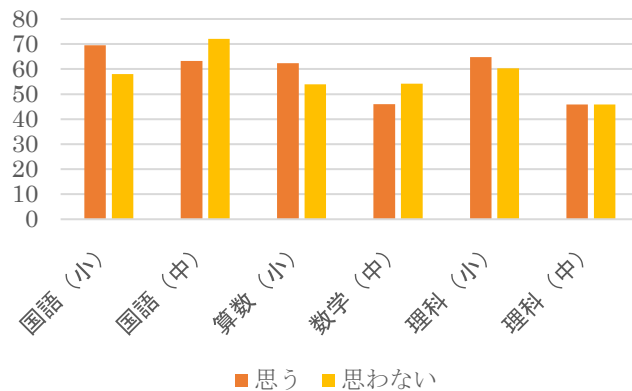


Q⑥1日当たりのゲーム（PC、携帯ゲーム機、スマホ等）ゲーム時間と正答率



◇①毎日、朝食を食べている児童生徒ほど、正答率が高いことが分かります。
 ◇②③就寝・起床時刻など、規則正しい生活習慣が身につけている児童生徒ほど、正答率が高い傾向にあります。（特に小学生）
 ◇『早寝・早起き・朝ご飯』、生活リズムはすべての基本です。

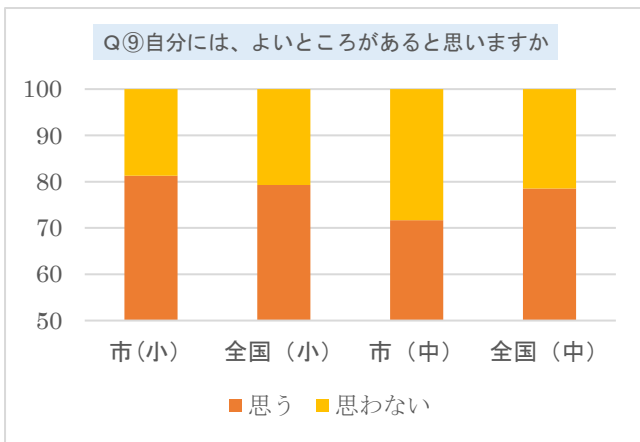
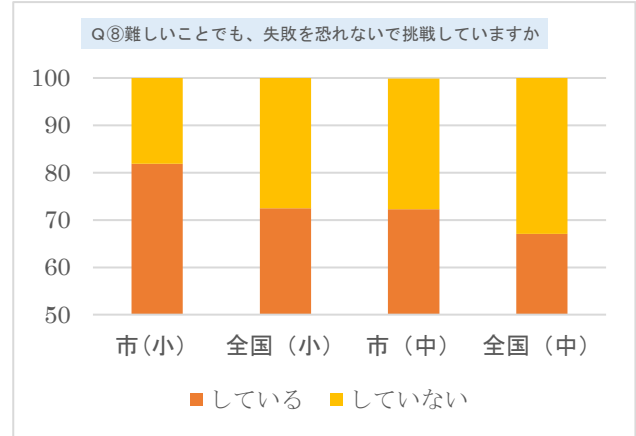
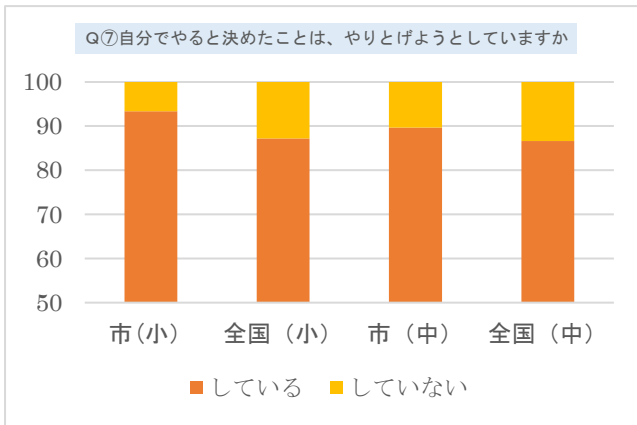
Q⑤自分には、よいところがあると思いますか



◇④ふだんから読書をしている児童生徒ほど、正答率が高いことが分かります。「読む」習慣を身につけることが大切です。
 ◇⑤子どもたちは認め励まされることで、少しずつ成長します。その積み上げが学習への「やる気」（学習意欲）につながります。
 ◇⑥スマホやPCなどの使用は、できる時間や場所を決めるなど、計画的に行うような工夫が必要です。

※【注】①～⑤の回答には、「どちらかといえば」の項目も含み、比較しています。

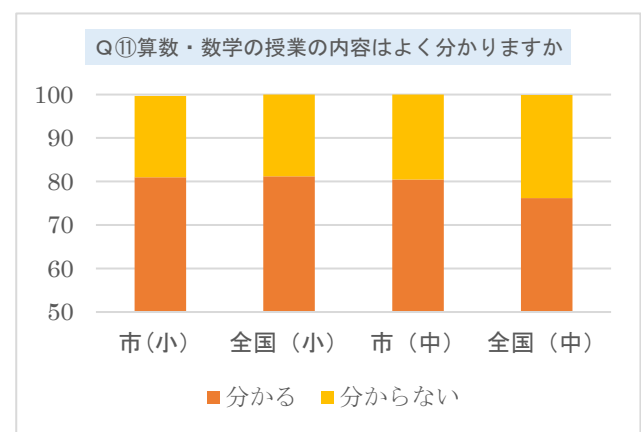
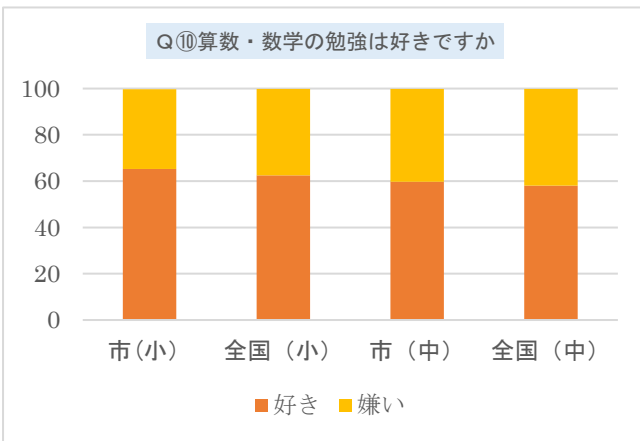
・また、学力の向上には、基本的な生活習慣を身につけることに加え、自分に自信を持ったり、将来について希望を持ったりすることや、子どもたちが「わかった」「できた」と感じられる授業改善に向けた取り組みも必要と言えます。以下の各質問に関して、小諸市と全国を比較してみました。



◇⑦市内児童生徒は最後までやり通そうとする気持ちが高いです。学習においてもその粘り強さを発揮することが必要です。

◇⑧挑戦心が高いことがわかります。あきらめずチャレンジする気持ちを更に育てていくことが大切です。

◇⑨子どもたちは、頑張りやよさ・考えを認めてもらうことで、自己肯定感が高まります。



◇⑩⑪算数・数学の質問結果を例に挙げてみますと、勉強が好きで、授業が分かる傾向にあります。他教科の授業においても、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できること、そしてその積み重ねが学力の向上につながります。そんな授業を目指し、先生たちも授業改善に努めます。

※【注】⑦～⑪の回答には、「どちらかといえば」の項目も含み、比較しています。

今後の取り組みについて・・・

・これらの結果は、学力や学習状況の一部であることをふまつつ、今後の各校の授業改善や家庭と学校との連携のあり方について、考えるきっかけとして活用し、これからの時代に求められる子どもたちの資質や能力の育成を図っていきます。 <小諸市教育委員会>